



積丹半島と神威岬

～積丹ブルーにニシン場の記憶をたどる～



積丹半島開発の歴史は古く、ニシン漁の旧大漁場として発達しました。切り立った断崖とシャコタンブルーと形容される神威岬の海岸美は絶景。貴重な自然と産業の古い歴史に加え、明治から昭和初期に栄えた旧ニシン場の遺構として番屋、揚場跡、袋澗、トンネル、旧街道などが保存されている。神威岬の全面禁煙など景観を保護する活動も始まっている。